

## 会議録

会議の名称	令和5年度 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和5年4月25日（火） 午後5時から午後6時30分
開催場所	田無庁舎502会議室
出席者	委員：（対面）新藤委員長、濱崎副委員長、笠原委員、青木委員、 遠野委員、森委員、亀田委員 （オンライン）藤井委員、中山委員、中野委員 事務局：生活文化スポーツ部高橋部長、文化振興課堀課長、文化振興課文 化振興係山本係長、文化振興課文化振興係小菅主事、西東京市第 3期文化芸術振興計画策定支援業務委託事業者（株式会社創建東 京本部：大谷主席研究員、砂田研究員）
議題	1 西東京市第3期文化芸術振興計画骨子案について 2 その他
会議資料の 名称	資料1 西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱 資料2 西東京市文化芸術振興推進委員会傍聴要領 資料3 西東京市第3期文化芸術振興計画策定スケジュール 資料4 西東京市第3期文化芸術振興計画骨子案 参 考 西東京市市民参加条例
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>【以下、新藤委員長にて議事進行】</p> <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる参加も可能としていることを説明。</li> <li>・事務局にて、資料1を用いて文化芸術振興推進委員会の運営について説明。</li> <li>・資料2を用いて、令和5年度第1回～第6回文化芸術振興推進委員会の傍聴人の定員を5人とするด้วยで全会一致。</li> </ul> <p>2 【議題1】西東京市第3期文化芸術振興計画骨子案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局にて、資料3を用いて西東京市第3期文化芸術振興計画の策定に向けたスケジュールについて説明。</li> <li>・事務局にて、資料4を用いて西東京市第3期文化芸術振興計画骨子案、西東京市文化芸術に関する調査報告書（概要版）の内容について説明。</li> </ul> <p>○委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4について、第3期文化芸術振興計画全体の構成内容や文化芸術振興計画の基本</li> </ul>	

的な考え方、文化芸術振興に向けた施策の展開、その他の視点等について、委員より意見をいただきたい。

○委員：

- ・施策体系（案）では基本方針が現行計画に比べて3つに変更されているが、基本方針を位置付けるにあたり、スリム化をしたのか、それとも濃縮化したのか、どのように考えれば良いか。また、コロナ禍による社会情勢の変化については第3期計画で記載すべきだと考える。

○委員：

- ・西東京市は「子どもが『ど真ん中』のまちづくり」を進めているが、第3期計画は子どもが見てもわかるような内容にしなくて良いのか。5ページにて第4章の記載イメージが示されているが、写真や図等があると分かりやすい。子どもにもわかるような計画とするのであれば、キャラクター等を活用するのも良いと思う。また、第3期計画では、SDGsやダイバーシティ、LGBTQについても記載すべきだと考える。

○事務局：

- ・基本方針については、令和4年度に実施した文化芸術に関するアンケート調査等から見えた課題を踏まえ、現行計画の内容を整理し、市の考え方を明確にできればと考え、今回提案したものである。
- ・コロナ禍による社会情勢の変化等の記載については、素案を示す中でご意見をいただきたい。
- ・第3期計画は誰にでもわかりやすい内容とするため、構成や文章については、配慮していきたいと考えている。
- ・SDGsやダイバーシティ、LGBTQについても素案の中で示していく予定であるが、SDGsについては、1ページの第2章「文化芸術振興の背景」の「1文化芸術に関する施策」を取り巻く状況のうち、「(3)西東京市のこれまでの取組」でも触れる予定である。また、ダイバーシティについては、多様性に関する内容で触れていくことになり、具体的には施策体系（案）のうち、基本方針3の施策2で記述していく予定である。

○委員長：

- ・第3期計画策定のため、令和4年度に文化芸術に関するアンケート調査等を実施したが、西東京市の特徴が現れている結果はあったのか。また、市として力を入れていきたいと考えていることは何か。

○事務局：

- ・西東京市の特徴としては、「子どもが『ど真ん中』のまちづくり」を掲げている点であり、西東京市子ども条例を定めたうえで、子どもにもやさしいまちづくりを進めている点は、他の自治体よりも進んでいると感じている。また、『「健康」応援都市』も掲げており、文化芸術が持つ力が見直されている中、健康とウェルビーイングを結びつけて、文化芸術によって生きがいや心の健康につながることを見せていくことで、西東京市らしい取組になると考えている。
- ・市としては、他分野との連携について力を入れていきたいと考えている。他分野との連携に取り組むことにより、文化芸術の裾野を広げることができると考えている。例えば、令和元年度には、ラグビーワールドカップの期間中、保谷こもれびホールでパブリックビューイングを実施し、カフェにて対戦国のメニューを提供したり、西東京市スポーツセンターの指定管理者と連携した。また、パラアート展覧会・表彰式で

は、令和3年度から障害福祉課と連携し、展覧会の開催を障害者週間に合わせて実施し、表彰式の日には同じ施設にて障害福祉課の事業を実施している。

- ・他分野との連携は第3期計画の施策体系（案）では、基本方針3に該当しているところだが、これまでの取組を継続しながら、この点については特に進めていきたいと考えている。他分野と連携することで様々な可能性が広がり、庁内の資源活用としても有効である。

○委員：

- ・文化芸術に係る計画は、どの自治体も同じような内容になってしまう懸念があるため、西東京市の特徴や具体的な施策について聞くことができ良かった。文化芸術が生きる力になることを強く訴えることを第3期計画の軸として、西東京市らしい計画になると良いと思う。

○委員：

- ・文化芸術に関するアンケート調査等の結果を他市等と比較して、西東京市の弱みや強みは何かあるのか。

○事務局：

- ・他市等の比較については、同様のアンケート等を実施していないことからデータを比較することはできないが、国における文化芸術に関するアンケート調査の評価と比較はしていきたいと考えている。

○委員：

- ・美術館等の展示スペースがないことが西東京市の弱点であると考えている。現行計画では、基本方針2の施策2に「文化施設のあり方」が記載されていたが、第3期計画の施策体系（案）では、基本方針2の施策4で「文化芸術に親しむ場の確保と充実」となっており、この記載がなくなっている。場所がないのは仕方がないが、場所がないのであれば工夫を凝らすべきである。

○委員：

- ・西東京市の強みとしては、下野谷遺跡という価値のある文化財があることである。西東京市はアニメのまちでもあることから、キャラクターももっと親しみやすいものにして良いと思う。下野谷遺跡でコスプレイベントする等、面白い企画を取り入れても良いのではないかと。また、場所がないという意見があったが、シェアオフィスのように、文化芸術のためのシェアオフィスの検討等もできると良いのではないかと。

○委員：

- ・市では地域博物館の設置を目指している。地域博物館では、市民の活動によって研究や文化芸術活動ができる場所として活用し、ギャラリースペースの設置も含めた構想を考えている。地域博物館を通じて連携し、一緒に取り組めればと考えている。

○委員：

- ・1ページの第1章文化芸術振興計画の概要のうち、1策定の趣旨に「文化芸術活動の中止・延期を与儀なくされました。」とあるが、コロナ禍の間、何もできなかったと読み取れてしまう。試行錯誤しながら実施したことを含め、「縮小」を入れていただきたい。

○委員：

- ・第3期計画を誰にでもわかるように示すことは良いと思うが、子どもや高齢者など受

け手の年代により捉え方や課題が異なるため、年代ごとに文化芸術を通じて生きがいを見いだすことができるような支援があると良いのではないか。

○委員長：

- ・子どもに対して何かを提供するのではなく、子ども達がつくっていくことを助けた  
り、サポートするような考え方があると良いのではないか。

○委員：

- ・アフターコロナについても焦点を当てる必要があると考える。また、西東京市らしさを生かすために、下野谷遺跡のほか郷土資料室を有効活用でると良いのではないか。その他、「子どもが『ど真ん中』のまちづくり」を進めていることは、教員としてもよい取組であると感じている。子どもが育つ環境の影響は大きく、地域資源として下野谷遺跡を活用していくのでいけば、どのように伝えるかが大事であると感じる。令和4年度に実施した文化芸術に関するアンケート調査の結果では、市内で行われる文化的イベントに参加しなかった理由は「知らなかった」が約4割となっていることから、情報発信の方法についても工夫していかなければいけないのではないか。

○委員

- ・先日、下野谷遺跡に関してWEBニュースを見た。情報発信の仕方について参考とし、そのようなノウハウを他課にも広げてほしい。また、西東京市をアニメのまちにしたら良いという意見もあったが、アニメキャラクターの使用等は他の自治体でも多く取り組んでいることから、埋もれてしまう可能性もあるのではないか。

○委員長：

- ・1ページにある第2章の「1文化芸術に関する施策を取り巻く状況」のうち、「(1) 国の動向」にて文化芸術の重要性についての認識について記載されているが、今の時代、インターネットの活用で様々なことができるようになって、誰かと一緒に取り組むことや、作品の鑑賞を通じた共感等は大切であり、大切であると主張し続けることが必要であると考えている。また、第3期計画は、令和11年（2029年）度までの計画期間ということで、2030年を目標にしているSDGsも未来の目標ではなく、総括する時期にもなる。SDGsによって何ができたのかを振り返りながら、文化芸術の取組についてまとめていく計画になると良いのではないか。その他、多様性についての意味合いも広がっていることから、その多様性を視野に入れた施策や事業の立案も大事になってくるのではないか。

3 【議題2】その他について

- ・事務局にて、第2回文化芸術振興推進委員会の予定（令和5年8月上旬で開催予定）及び内容（第3期文化芸術振興計画素案に関する意見聴取）について説明。

4 閉会

以上